行 発 人 新潟県公民館連絡協議会 新 潟 市 寄 圕 町 **越佐自治会館**内 (電 2 4094 澙 퐈 月 号 (42号) 九 間、 困館市公民館において開催さ| 館主事、 木村県社教主事の六名が | 民館のあら方(福岡県八幡市公民 は、本州側六一名、北海道側七九 県からは小野田新源市社教課長、 名 れた全国都市公民館研修協議会に|参加した。 奥村(新潟市豊原)公民館長、三一和田社会教育官)、午後は公民館一つた。 周新発田市中央公民館長、佐原五一における職業教育(兵庫県加古川|第二日は、午前に、放送と社会教 八月二八、二九、三〇日の三日|泉市 公 民館長、 見附市松本公 民|公民館長) 計一四〇名が参樂したが、本|会教育(北海道学会大学 飯 野 教|た公民館の運営と活動(埼玉県川 和基本公共在时代中国会 Ł 团 都 修 |授)都市公民館の現紀(文部省小 | 口市公民館長)の研究発表があ 市公民 第一日は午前が都市の性格と社 | 県小松市公民館長 ) 調査に基い のは龍野全公連会長 館 (館長) 参加者に対して、単独立法推進を 力説している姿がとくに注目され 野全公連会長が、機会あることに と答えていたが、この三日間、龍 置して良いのか日下不明である」 ある。と言つても具体的にどう処 などは趣旨は良く解つているので 本質上、義務制は絶対考えられな り、現状勢に合わぬので、全面的 闭部会、市民層部会、施設部会の い。しかし公民館職員の身分確立 に再検討中であるが、社会教育の **層官は「現行社会教育法が古くな** 沿<br />
特に<br />
立つた<br />
文部省小和<br />
田社会教 **払推進に関連したものであつた**が として、社会教育法改正、単独立 半は全体討議に移つた。質疑は主 れた四部会からの報告を終り、後 四部会に分れて研究した。 があり、午後は職場部会、生活単 育(NHK羽館放送局長)の講演 第三日は、午前前半に前日行わ 介館指動について(石川 さる 工業都市における公 らせがあつた。 ら、九月十一日、 会実行委員長(浜田成政氏)か に開催されることが決定し、大 三(大阪市大王寺区夕陽丘町) 日の日程で、大阪府立夕陽丘会 いよ十月十六日(火) 階に直面しているといわれてい する。 て当面する諸問題を研究討論し (永) 大日(木) て新しい公民館のあり方につい なければならない。 発展方途の発見に勉めようとし 第五回全国公民館大会はいよ この機会に実践活動を基とし 公民館は現在反省と整備の段 五回全国公民館大会迫 16.17.18 B 10月 県教育長宛報 大阪市に て 三百三 十七日 第三日は、懸賞論文入賞者の発
の其の他公民館の当面する諸問 表と賞状授与 か)共同研修(公民館に関する 都市、 農村別に前項同様送付す 諸問題の研究集会 告と全体討議、放送討論会(公 規の問題、公民館連絡協議会の 都道府県教委関係者および各都 け、A班に於ては、主として、各 民館活動は現状のままでよい 道府県公連関係者(約百名)を由 の関係から参加者を二班に、分 け、各々三、四百名位の研究協 公民館と新生活運動――前田多 **状発表、班別研究協議会結果報** いる新生活運動の進め方) 会教育の浸透の策、公民館にお **組織強化)B班研究協議題(社** 題(公民館関係法規、全公連の 同長)班別会議、A班研究協議 員表彰、講演(文部省社会教育 討議的な<br />
運営を行う。 議会をつくり、各部会とも全体 るので、都市、農村の二部会に分 議するが、との班の参加者は 等に関し当面する問題を研究討 な結論を出すべく努力し、B班 問題等を充分研究討議し具体的 心として、懸案の公民館関係法 共同研修の結果発表、構成( 丁名以上という多数が予想され においては、公民館の運営事業 日程の主なる行事を紹介すると 第二日、ブロツク別公連の実 第一日は、全国公民館優良職 要綱の要点をここにお知らせ、門、公民館の性格の再検討 この大会の構成は、議題処理 、穏の取捨は大会事務局編集部に だついて、 透方策、②新生活運動の展開 OB 班協議題 (日社会教育の 高 すること。 るいとの 法規、の全公連組織強化)につ 送付されたい。 九日必着にて県社会教育課長の 式のとおり記人の上、九月二十 題についても同様であるが、原 いての要旨を、原稿用紙(四〇 に大会資料原稿を募集している 込書 ているから参加希望者は左記様 事務局長死送附することになつ 前之町)に設けられている。 一任のこと 三十日まで大会事務局長宛送付 ○字)三枚以内、 箇条書にして 名役職 九月三十日までに一括して大会 会社会教育課(大阪市東区大手 (簡単な説明を書くこと)九月 会教育課においてとりまとめ、 三井為友)等である。 ○A班脇議題(①公民館関係 なお大会事務局では次のよう 第五回全国公民館大会参加由 この大会参加申込書は、県社 大会事務局は大阪府教育委員 氏名住所 「A町都市農村 参加班別 B 班

(3)		第四	<del>ï</del> -	号	(査	EA	1 @	晓	5)		<u></u>	新	潟	県	1	<u> </u>	民	飵	1	月	報	<u> </u>					ं ह	₫和31	年9	月2	5日
においても、公民館、教育委員上			をさいてこの運動の認識を深く	議会委員が出席して、若干時間	等の会合には、地域出身連営署	2 部落、地域、婦人会、青年団		根本理念と、具体的事項を掲載	- 館報は号を追つてこの運動の	以上の方針に基いて、の六項を決定した	地についた運動とする。	6 効を急ぐことなく、永統する	、として、この運動を展開する。		- (第	問題点の発見と、解決への具対	り、その地域として取上ぐべき	部落・地域別に話合の機会を作	3 公民館役職員が中心となつて	運動の必要性を強調する。	2 講演会、館報等により、この一	- 特に推進協議会は設けない。		部会において、この運動の根本方	こう聞いた頂ミーには、文七厚ヒー	新生活運動が提唱されてから既		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.]	余々に住	
と言うことは易いことではあるかうに覚える。現今においてに当時して			ぜられ、又実際に実施されて来た  断	動についての施策なり手段等が論 れ	ように思う。其の間種々とこの運一中	出てから阜や相当の月日が過ぎた   イ	新生活運動と云う言葉が世の中に」くよくよ欲味してみると仲々に深	(	ି ଚ	運動		最近の断生活		実施し、	一十日に亘つて全地域で	して、部務別の映画会を九月一	イ 目的に適合した映画を選定 い		3%		題点を発見し、目下之に対する一て	査等を実施し、既に幾つかの問	<b>古実態調査、冠婚葬祭合理</b> 化	3 そうした機会を利用して、生	<b>すうにもこ</b> から問題点を断上けて。 融合を	会職員等が、その会合自体の中		<ol> <li>3東頸城・安</li> </ol>		進める人間攻告	
		· · ·		れが地方へ滲透して来た頃には、	央でこの運動の音頭がとられてそ	く味のある言葉であると思う。中し		ן ייי ע	K Y 生	に想う				2 受胎調節、 姙産婦保健等の母ニ	え、か、撲滅運動	- モデル地区を設定しての、は	いるものは	提唱され着々として実績を収めて	であるが、新生活運動発足前から	実践期へ移行しようとしている処	てのこの運動は、啓蒙品から漸く	以上述べたように、当町におい	0230°	の実際を決定すべく手配を終	予め無作法抽出によった十数	ロ谷会場毎に映画会終丁後、	-	塚町公民館	レンス	ス上し	•
な、そして向ちに実施出来得るこ	<u> </u>	116ず	して面倒な仕事を、うまずたゆま	似をせずにこの最も意義ある、そ	進せねばならぬ吾々は、中央の真	うでもよいが、実際実施に当り推	それはさておき、中央の事などど	であろうか。	啓蒙の域より実施の域に入ったの。村に於ては時間かない、金がない	る。これは邪推であつて、真相は一どうも本運動のみならず、特に農処でもうかがわれるような気がす一が空転するようであつてはならぬ	る。熱し易く冷め易い気質が又此 派な文句を列べたところで、これ	うた。否全てと言つてよい程であ よいと思う。立脈な計画をたて立	ほどに本運動の声が、 聞えないよ」とから運動にうつして行くことが	てより、更に最近の情況に考え		人会ら花嫁衣裳の共同利用を実	小黒両地域では、数年前から帰		之が普及につとめ、僅かながら	婚並に按醒案実施要領を定めて!	并前から、女家村公民館公営指	6 結婚の簡素化についても、合一のとすうられる。	うしている点に。 牧筆すへきを	通じて、協同の精神を著しく涵	同作業の場が直ちに話合の場に	よ実こよく守われ、こうした時で 4 一更に農作物病虫害の共同駆除	つあり、	共に、簡易水道設備も普及しつまつて、海次改善が行たれると	3 台所改善もようやく意慾が高	てより、	算が子りたい多数の失鳥者を見体が強いたよい。極めて積極的な指
		やに思われる此の秋に当り、考え	も」本運動の声の消えかけておる	くべく「たとえその実は小さくと	らと地についた運動を展開して行	のととをよく考えに入れ、じつく	りがちのように思われる。この辺	と云う事で、このようなことにな	村に於ては時間がない、金がない		派な文句を列べたところで、これ	よいと思う。 立派な計画をたて 立		上を図り、幸福な社会及び家庭生	仏態の中に真の自らの向	だ根強くはびとつている。	の向上を妨げる封建的な因習が未	われわれの日常生活において、そ		<b>④</b> 刈羽		あせらす 無理せすの			一従つて結婚改善についても、経費一いのが実情である。	ようとする傾向が強く	もの、即ら新生活運動の効果を形	ら限前と頻響な杉とよって表れる	の実態であるが、当地域において	以上が当时における新生活運動	近く花嫁の洋装衣裳を購入すべ
ホ、結婚式服の貸衣粧の利用	- 二、家人市初り皮閣塔上 - 一元の「参少学に目房をとする」	ロ、おいつきの廃止	て、のぞ善見の廃止	④ 結婚式について	③ 秋祭りの村内統一	ニ、寝室、台所の窓明け運動	ハ、箱膳の廃止	ロ、万年床の廃止	及び清掃、薬材散布)	イ、カ、ハエの撲滅(思想の普)②環境衛生活動	① 時間励行(集会)	である。	がわが公民館の新生活運動の趣意	最いに言語言でいたのこともつ	これらの中でも特に身近かな問題	の改善すべき問題がある。	こ多く	活を築くためには生活をとりまく		羽·中里村公民館	•	理せすの			一いのが実情である。		「新しい時代に適応した家庭の運営」	の日態勢を、娘本的こ別夫して、あくまでも強く作用している農村	一家の中心としての家長の権力が	は、旧態依然たるものであり、又知られていて	皆こ付する良本的な広向こついて、
各冊五〇円 、赤子ン	の戦易り死矢計判(所引)	- }	- P	③新しき日のために――実践例	④社会生活とエチケツト	③明日を築くもの実践例	②世界の新生活運動	の世界の新生活運動	新生活シリーズの紹介	新生活シリーズの紹介		(小铆定夫)	駒のモツトーである。	食に直接工入らない。あらゆる機	あせらず。無理せず。金銭、飲	員一 ~ 三名をおいている。		われわれの日常生活において、そ一活を築くためには生活をとりまく一であるが、これを未端に彼底推進	以上が日下実践しつつある要項		1 年賀の簡略化	重点をおく		「⑤(食生活の改善	- いよいよ多きを思うものである。	民館が果さねはならない仕事の、		の日態勢多、根本的に別失って、「ヨニ体質されながれて、生活を廃な」あくまでも強く作用している農材「プな感覚が身について、各人がお	はあるが、新時代に対するシャー	は、旧態依然たるものであり、又一致な災単はもとより困難なことで知られてきれる自た足民について、キシュリの米級電である以上(急	社会環境の野ませである以上、急い、新生活運動が入間改造であり、

.

<b>(5)</b>					-		1 🖪	1発	년 (년				暑	豻	潟	먲	Ĺ	公	民	1	官	月	幸	役								·年 · ·		<u> </u>		1
-		的象徴(文字・ことば)だけでは	しかしながら、とのような言語	係のあるものである。	に関				孝	· * * 去	エ学へる	ト	カお州ゴ	「一る大来	- · 視学県さ	デジュ	1 的ブ音 豪	方法	/ 恒 で授市公	)ェ 、会	したが置い	青~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	親しデー	よんル間	相り で博にれた	いるがった	永			いてく こう 日前に マー・アン・	5	そして、これらまそれぞれ対照して	と取べるとにして行われてい」れたには必要音に次する不信わて	とない。こここの「まっつ」、「「「」、」、この文明」またいで書きた。 る学習も、よむこと、しゃべると「忘れ去られてしまうという所にこ	人間の生活も、その中に含まれ」とのむすびつきが少いのですぐに	
るが、更に映画や幻灯などによ	抽象から一歩具作にもちこまれ	くり出し、単に「日本」という	によつて日本に対する概念をつ	いて書かれた本をよむ或は写真	に、まず第一には日本の事につ	知ろうとする場合		アメリカにい	挙げると	りうことで一つ例を	次に 	2当			演の	內		)要	」言 念化し、またその	ŧ	上改	יר ביוו			0 21111		葉にすることに意	# 得られた経験を言う	■ このようにして	号の語ができる。	て具体的或は半具体的な経験を	そこへ、マス・ミーデイアこよ	とらった言うらっ	れ去られてしまうという所にと	のむすびつきが少いのですぐに	
木になるという事が抽象というしいのである。	のが具体であり、種をうえるとしられないといつた態度が望まし	覚によつて知ることのできるも		らうにビワの実とか種のよ		ることのできない未来のことで	できない。即ち感覚にうつたえ			~ ~	それを植えれば木になるという	なるのは、種を見ている人も、		びビワの実がなるという事を人 ]	来大きな木となつて成長し、再	を土の中にうめる事によつて将一	ととができる。しかし、その種	ととによつて感覚にうつたえる	我々が見ることができ、さわる	ビワの実とその中にある種は	について挙 げられている。	もう一つの例としてビワの実	\$\$°	概念は一般化されるわけであ		である。		により、味覚による日本をより	とができ、日本食を食べるとと			このようこして調べられたも一声でしたたい	でしいよい。	けずは異望し起ぎずきりつつ	つて一層その概念は真の日本に	
	りふれないといつた態度が望まし			とは、よい	望んでいるのである。	ており、大衆の中に埋没しようと			の意識的無意識な態			して表に上てて行え	Sec. 1	合いて考えるにに、	このような問題に	けられる。	のかという事が挙	れさせるためのも	うのか、悩みを忘	解決するために使 した	アは我々の問題を	4、マス・ミーデイ	我々を近づけるか	はア世界の現実に	3、マス・ミーデイ	ものか。	2、それは面白く数寄するための」ー、大衆が求めているが、それは		た同想			疲覚的方法をとり入れることこつ。 ては でこて う際に当者にお		のものではなく、お互いに隣連	ととであり、それらはバラバラ	
にあらゆるコミニュケーションを	觢		いし、関心がないからと云つて放一を基にして、知識を概念化し、一	味や関心にのみ捉われてはいけな一終始することなく、これらの経験	これは、学習する者の単なる興一	質的には必要なものもある。	2、大衆が求めてはいないが、本								うちのうちしょう				アー・行きた。						日本の		ー、大衆が求めているが、それは	ないととは、		「ユニケーションと教育の関		とこついて研究されなければなっ		のものではなく、お互いに勝連 way のものではなく、話しかけ	そして送る側としては、one	
にあらゆるコミニュケーションを「葉や文章にすることによつて抽象」	いた知識を生活し更に、それを言う	一般化するようにして完全に身につ	を基にして、知識を概念化し、一	終始することなく、これらの経験	知識の収得とか言葉の記憶とかに	ものであつて、学習の際に、単に		え方の人々が多わったか、これに	認いも反対のものであるという書	一次1 2240 00%50 こ1 0号	- 由家は今まで別々は意未で取り	とこで、最も大切なことは、具体	と抽象についてまとめてみると、	以上の事柄から再び主題の具体	力を決定するわけである。	のもつ伝達力が人間に与える影響	していくかによつてとれらの媒体	をどのようにうけ入れ或は生活化	この媒体によつて伝達された事	はならない。	といまいる。な事をまらたいれ、行れれるへきてある。	こうろずらようよ声を受えます。		であるから、とれらのものを、	というととである。	や内容を伝達する媒体でしかない	人々に刺激(見ること聴くこと)	一映画、TVというようなものは、	ならないととは、ラジオ、新聞、			こができるよう計画し	習を活気あるものに、学習の効果ようになり知的な社会生活ができ	ラエティーをもたせると同時に学り高度の経験を得ることができる	動員するととによつて、学習にパーされ、またそれを基礎にして、よ	
(	5	(社教課)高橋英夫)	初とするものである。	おると同時に執一の補償局格本	ららに司存二年上〇和主任をは	として、大いに喜ばしいととで	たことは教育に関係をもつもの	人格と高説にふれることができ	めたもので、国際的な権威者の	学で行われた講義も加えてまと	を中心とし、国際キリスト教大	ししの 高弱に、 希源での 離海	以上の見まれ、行きの事実	市で開催をされ、ノドモモト	「おの「「「「「「「「「「」」」」、「「「「」」」、「「」」、「」」、「「」」、「	されたのを支切りて国内主要部一	大学で約十日間にわたる講義を	に着かれ、以来国際キリスト教	デール博士は七月五日に羽田		それれるへきてある。	子つしらべき% ららら	がより深く建築されるよう数言は	イアを通して伝達された事を大衆	利用することによつてこれらミデ	イアを周到な準備と細心の計画で	ミュニケーションのあらゆるミデ	なる事を実現させるためにマスコ	長を目ざし、人類が一つの家族と	験をもち、人間として最大限の成人	我々が世界中の人々と共通な経	るようになるものである。	ようになり知的な社会生活ができ	り 高度の経験を得ることができる	され、またそれを基礎にして、よ	

-	四十二	二号(	(毎月	11	田発行	<del>3</del> )				釿	淘	県	公	民	飣	月	载	Į				昭利	131年	≛9月	25 H		(6)
で中止しなければならない。又何一となつている。各学に公会堂があがあれば勿論我々の計画はその場一会教育などと云うことは行き詰り	なかなか難かしく〇〇会議その他一その為の施設がないので、その社	――――――――――――――――――――――――――――――――――――			と、 」 とは、あらゆる」学校は学校教育の為の胞設だから がないと云うこ   者に共通した心理である。			- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		どれに二つ		こ分まし、湯泉、変を皆りないにす。変象で記書中午、そことに云っまでもない。まこと、おかなかもすかしく、最近て信学		最近、青年団、婦人会等諸団体」かの大会で、その練習、予選等	大衆は司会者の態度を汲むこと、語らいのはけ口を求め、この様な二五、暗い場前			も早く会場に出席して来会者とあ  喬しにハー云う気みを作り出すと  一人の観客になり切つて、誰より  を求めるのではなくて、自分も発		つきがなければ、話合いの際思う」み話をする様な平易さ、気軽さで			「町台とまでありこそ音を合格」と「はなっよい。」単なる映画会を、討議をする映一に敏感である。決してエラぶつて	(中)中魚仙田村教委金子幸作	成功の秘訣	部落明画会ての	四年史正を言う
のよう。	公民館を建ててもらえるように努	関心をよせている村民との協力で	問題にされないと云う人もあるが	今これを云つても町村合併の為に	であるが、口にしないだけであることれば誰もか欲していることなり	に解放された公民館がほしい。	日言村に一つくらい社会教育の為	共同学習等出来ようはずがない。		-	かると云うわけでこれも出来ない	年一難であり、友は首百人に米感がか一学にたっている為、 信配の使用に困		かの大会で、その練習、予選等でしると云うかも知れないが、雲田等	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	にを平均に考えられない。	」と発言している点、各地の火準	いものサムライ劇みたいなものを		で一の青年達がA部落では一この様な				子が弋等する点、今後考慮の余地の意見はまとまつても、大部分更	の発言が極めて少い。グループ毎	うに感じられた。然しながら女性	話合いによつて自己の主張を述べ
(月刊視聴覚教育時報第二七号	複雑さがひそんでいるのである。	てほしいと思う。現実の社会は殊一	兼は高見にそ、 世界みんよこきい   B	思った しとコツソリ語つでくれる	終つてから『あの場合、私はこう』。「見をきく事が出来ない。 映画会が	に支節ある人を考慮して裏実の意	――等の問題にふれると来会者の中 	2、日地三	は、ハつの日の頃かと悲しかつた	難である。一般大衆が小中学生の	八、戸なき声を把握することが空一	皆がましいとつくづく思つた。	同を左右する事にもならかねない	ーションの如何によって、村の動 軽んでいる。マス・コミニューケ	るだけの指導者振らない指導者を	り一人一人り中に容すしたでのす	七、熱のある指導者が必要だと云	ない。記名いび会に引先な展界を得られ	てはならない。こういう地区では	している人達の多いととを見逃し。	じて百多近い出席率を示す。たた	落では、映画そのものに魅力を感	一次言を見る後きつ手もってよい那一大、この様な会合を待たない限り	なりかねないことを考慮したい。	つて、今まで何のイザコザも無か	「更にこれを大きく取上げる事によ」例えば嫁と姑の問題にしても、殊	語合う事はさけるべきだと思いた
の一月に発足してもうすばらし 紹介すること		- 十七戸で話し合い――もしい	の発足です~	بر	りました。殊に注意を引い	小団活動の紙織のあること	「家の会、営農クラブなど二十に	社会学級、生活学校、青年学級	この講習会で、赤泊での小団	「つかしいととだからです。	このことは最も簡単で、最もむ	■ 長りらうちがる所主古軍動一・・・	「動に係つてい	、新生活運動の	一の方句よ品昜り当ら、学者の理理していました。最近の社会教育	私はこの会をずつと前から期待	「活動指導者講習会」がもたれた	二日間、赤泊村公民館で「小団	「「」去る八月二十七、二十八日の		<b>N</b> 日 (赤	注意		الله المراجع ال مراجع المراجع ال	の巻		Tananan (1911
紹介すること	モデルとして	方のワーフワー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー	くら方を新生	この築会のつ	協議会では、	なった等。			ł		F	0	化したわらなく 夜	● して来た。 集会	会 ろ」式でなくな	「 」 ものこよまかれ 「 同の" 民間なそごれている。 一長 V 1同	)時間、Factorsの「Actor の期待が増して来ている。集会	ついた課題がでてきた。集会へ、外国	同の精神ができた。部落と結び来真	一帚人の発言が多くなつた。筋 の小	て次のようなことがあげられてます	会がもたれ、今までの成果とし とと	三月から八月までに十団位の集(4、思さしてこと。」からオールます。イ	愿とってどうとすっています 佐々製作、時間厳守がとりあえず問 選け	の同所有、定例集会、便所のフタている赤泊の、目下の最大の課	そして集会所の整備、計器の共にため	
													査学習によって作られたもの	れている資料は各小団の期にいる資料はその分料会です。は、		に大きな示岐を与えました	いての懇切な指導は参会者	「講師の小団活動、共同学習」	していたことは、下越出張所 い	称、遠山両社会教育主事が	「お、との会に、下眩出脹所」」	いうい ffor 5 みませい。 「早く独立の公民館が建ち	近くその見通しがあるとの	- 木館長さんの言葉をかられ 『1979年後の法律です。 1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年後の1997年	る赤泊の、目下の最大の課	のような立派な活動をやつ	

(7)	第四十二号(毎月1回発行)	新潟県	公民館月報 昭和31年9月25日
加茂市、加茂市、	矢部体 市船佐	<ul> <li>C 信 か つ ぎ 一位中 畑伊 智 夫 一 回 個 人 戦 優勝 金 子 三 天 (長</li> <li>C 信 か つ ぎ 一位中 畑伊 智 夫 一 回 個 人 戦 優勝 金 子 三 天 (長</li> </ul>	
一一位古屋フサ(佐渡)生活をみつめ	○体験発表 一位小柳徳衛(南) 「大躍(雪道)斉藤博(村上)渡辺幸 天躍(雪道)斉藤博(村上)渡辺幸 天躍(雪道)斉藤博(村上)渡辺幸	<ul> <li>一(男子)優勝長岡、二位西蒲</li> <li>三位系魚川 三条</li> <li>三位五泉 三島</li> <li>三位五泉 三島</li> </ul>	立 一 位 大 川 会 国 会 、 会 ( 男 会 、 会 ( 男 子) 優 ( 男 子) 優 一 男 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
め、多くの団員も申込む盛況、主に。	一、青年団	な 牧 村 浦	ようとして、三位波辺健一(長岡))島(赤い星 (中海)動力と風学の喜び。 (南風の接木裁塔、三位山田昇 柴 (視客)御 新潟(表ふか)十日町(水谷百姓)三 (客員) (客員) 右 は 市 中 行 進)
た。 -  の役員になり手がた -  の役員になり手がた -  の役員になり手がた	ましい青年団のあり方を 学想を突破して五十余名 で育庁実績分室保坂、上越 事が当つたが、講皆内容	<sup>陸</sup> 行 青 ・ 新 都 よ 帰 き く る の の の の の の の の の の の の の の の の の の	高(赤い星)展外新発田(出曜)柏崎 (視然宮綱到着)北預(爆談)南蒲( (常覧上は開会式選手宣誓)
の手がかりとなつた。		をひきしめてくれたようだ。 をひきしめてくれたようだ。	く   く   、   た   、     、 </td
	● ( 牧村公民館報より) ( 牧村公民館報より) ( 牧村公民館報より) ( などれない。役員が なしごれた。 ( などれた。) ( などれない。役員が し合いされた。 ( などれない。役員が し合いされた。	やまった人とできたをつこ できごとを家庭のを明るくして、理解 できごとを家庭で語りあうことが できる空気をつくつたら――	氏eccreation 資料の指す。      氏色にではの市()      日本民踊の手びき書とし、トン、パレーボール、パドミン       のおみではあつたが、液のキ」を切め変えて、役員に協力するようなもの、液に活動の変加者の気持った。はのをすてるべきた。みんなの気持ったする。      のおみではあつたが、液のキ」を切め変えて、役員に協力するようなもの、      たいうまうなもので、      の方式の気持ったする。      たいうまうなもので、      たいうまうなもので、      の方式の気持ったする。      たいうまうなもので、      たとい       たいうまうなもので、      たいうまうなものの気持ったする。      たとい       たと       たとい       た        た

		ŀ						7
			をお待ちしております。 (甲)		「京阪電鉄京阪線守口駅下車	( 宮津線東雲駅下車十五分	を、県公連会長名をもつて、大会におりていた会に	<b>A</b> 15
		~	ってい公式館もありますが、京福	-	市民講座 美技指導講者		「第について審査し、優良なるもの」	第世
振替口座 新潟四、五七〇番		~	新生活運動だよりを、また下さ	山陽線表家駅下車走安丘子	「「「「「「「」」」というではない。	二人力位田ノ国ク巨魚	各郡市公連より推せんされた候	9 <b>-</b> 1
電話一新 淵。(2) 五二九七番	~~~	ŧ.	×	施設、分館活動	「「「「「「「」」」」	一、二日三丁へ家で見習		
		ĩ	を残すことになつたそうです。	△田南郡米田町公民館	関西線柏京駅下車走歩十分	し、シー線にて十分	職員の長影	身
新潟県官報販売所	~~~~	<u> </u>	ですすが、との武士の悟は水く名	徒歩五分			五、優良公民館及び館長	<b>(</b> 4
		所	隣室に移すようにしてくれたそう	,	Δ	1.2 <b>7%</b> -9	四、场子》 一家角田市本大中学校	ī月 ī
新潟市学校町通二番町	新潟	~~~	の弱い溜息派だけを、それとなく		幾日本鉄道八尾駅下車二十分	···,~	-	1 [Ē
			宿に寝る頃 五泉のS氏が、気	翌千分 ()		こと く 二丁一〇一〇日二〇一〇日二〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇	三、期日、九月二千九日(土)	<b>『発</b>
879 4800				··,,	△八尾市公民館	R)	第日北湄公連	ក៊)
			であり 約半数が溜息派でありま	△三木市中央公民館	-			-4.MN
<b>T</b>	ļ		たが、このうちの約半数が断電派			R	「婿運、町村躑会藤長、PTA連絡」	a (2404) -
FIJ	月 刊	日	修会に本県から六名が参加しまし		結婚改善	( 1)	田市、県通常、市都会諸長会、県	14.35
		本	朝館に行なわれた全、都、公研	·~ ·'	$\triangle$		後援新源県、県市長会、新発	iyin i
		: 社	「ます。美淡に复き包えます。	~			新発田市教委	新
	衣	Ŀ₹	代ま年文です。公室ま会後高展し	隆、少年団・	山陰線天ノ橋立駅下車、船に	三ノ宮	、主催 新潟県教委、県公連	4
 	┡	A R	ナミトゥーニシ尼元におに日るオー		△宮軍市府中公民館	京都府		笥
		】 教 ī	ますこうのまり司ままでしまっつ」	1会瑞井悌三郎	「杉沢竹沿(柿崎・公)	発展の具体的方策を探究しようとは論金(一〇時)閉会式(一二時)	発展の具体的方策を探究しようと	県
六ヶ月三八四町		育:	一 私達はたいてい 汽車に 乗 りま	長) 町村長(交渉中)大井一屋	委)発表者矢嶋政数(北鯖石・公)	第二日 分科会報告(九時)討	各方面職者の参集を得て、公民館	公
	<b></b>	連	んどありません。	講師柳川亥吉(新発田市議会議	助言者高橋八十、佐藤貝正(県教	食(五時)	を開催し、社会教育に関係をもつ	E
三ヶ月一九二円		合	に開催されるということは、ほと	らよいか)	司会者磯部富美子(村上・公)	表彰式(一時)分科会(二時)夕	ととに第七回新潟県公民館大会	£
		숲	大会というものが自分の市町村	中で、 公 民館は 如何に して 働いた	うに展開したららいか)	第一日 受付(正午) 開会式	なりません。	館
F 購読料 (送料共)	12			6 九、討輪会(市町村総合行政の	第二分科会(婦人教育をどのよ			月
	設	新			吉崎三吉(大瀁・公)			лт
•					一委の発表者高橋質伊知(亀田・公)	「観日、そり也希望皆」「「有手」業」	教育施設としての公民館への期待	嘏
		集	王王	~~	助営者猪股武雄、亀山末松(県教	一北石政等関系四本電、学校長、牧	おります。との時に当つて、社会	
	Ĩ	・弓		言者佐赉亮市・小卿耕首(県教)	司会者石川秀雄(弥彦、公民館)	七にも大きな変化がもたっされて一義員、司週系裁員、主会文質を育いていた。	七にも大きな変化がもたらされて	
<b>-J</b>	育	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	当日の資料代一人五〇円見当。	四山雄(峯岡・公)助	うに展開したらよいか)	も改正されているなど、私達の郷一を司事务司報員、市町村吏、司義会し~・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も政正されているなど、私達の郷	
		行	十一、会費 徴収しない。但し	らよいか)	第一分科会(青年教育をどのよ	「一般自己」と同、著已等一方丁寸文	日している一方、牧奇委員り制定	
			含あつせんの要否、希望分料会	視聴覚教育をどのように展開した	八、分科会の構成	て、新市町村建設に第二歩をふみしていた。旧旨一〇名皆ま類型(重一一一一一日本(七一一年3年)(これ)「三部」、「	して、新有町村重設に第一歩をふみ	昭
			氏名、住所、勤務先、職名、宿	昭二(津育・公) 第四分科会(		ニの常上表彩する。	一、「北京」 町村合并も一段落しこの高上表彰する。	和
ぎの発調・	化影		記	発表者山本醇(真野・公)内藤				1年
	-	<u></u>	は六百円程度であつせんする。	-	労催要綱	公民館大会開催要邏	乙	9月
、宿職員各立	公民		二十五日までに申込むこと。宿舎					25
1 教育関係者	社会		新発田市中央公民館長あて、九月	₩ 公)助		七回親源県	「第七回	Ħ
(   				うに展開したらよいか)	•	「ヨッ系		(8
			十、申込及び宿舎あつせん」	第三十科会(成人牧育を立つよート、申				) )